



東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

■検定制覇の3カ条 慶応義塾大学文学部教授 白崎容子

第32回検定に合格した皆さん、Congratulazioni!

次のレベルに向けてさっそく準備を始めましょう。惜しくも敗れた皆さんは気分をリセットして、秋の検定対策にかかってください。

1.過去問題の徹底検証：過去数年分の問題の parte scritta の部分をつぶさに検証し、文法面から自分のレベルを確かめる。たとえば4級にも直説法未来や半過去は登場するけれど、ごく基本的な用法のみに限られていることなど、把握しておきましょう。使用頻度の高い語彙で使い方を間違えやすいものも少なくありません。過去問題集の丁寧な解説が、有益なことをたくさん教えてくれるはずですよ。

2.イタリア語のシャワーを浴びる：リスニング対策の第一歩は過去問題集の Comprensione auditiva から。出題傾向を把握し、服装や日用品の形態など頻度の高い話題にまつわる語彙を増やす。語彙力はリスニング突破の決め手のひとつです。そして、自然な会話の流れに慣れること。3級4級では、そのものずばりの問題も出題されます。映画やネット配信のテレビドラマなどを活用して、日常会話のさりげないやりとりを親しむことはきわめて重要です。上級レベルを目指す方は、ニュースにも挑戦してください。そこまではちょっと…という場合には、市販のリスニング教材がじゅうぶん役に立ちます。イタリア語のシャワーを浴びるつもりでなんども繰り返して聴き、リスニング力に自信をつけましょう。

3.文章を読みまくる：長めの文をたくさん読む（可能なかぎり音読で）。これまでに教材として使ったテキストにも、きつと半頁～1頁くらいの文が載っているはずですよ。まずはそこから始めて、さらには平易な小説、新聞や雑誌の記事を読みまくって、語順や前置詞の使い方など、気まぐれなイタリア語ならではの特徴をしっかりと覚えましょう。イタリア人が書いた文章に少しでも多く接すること！これは語彙の拡充ばかりか、長文リスニング問題や3級以上で出題される作文への備えにもつながるので一石二鳥です。また、1級と2級の二次試験面接でも、さまざまな文章を読みこなした経験が大きな武器となるのは間違いありません。さあ、次の検定に向けて **Forza!!**

検定ニュース

◇2011年春第32回試験志願者数報告

	3級	合格率	4級	合格率	5級	合格率
札幌	12/12(3)	25.0%	13/16(3)	23.1%	13/15(11)	84.6%
仙台	8/11(2)	25.0%	4/6(1)	25.0%	4/8(2)	50%
東京	248/295(56)	22.6%	250/290(128)	51.2%	167/213(125)	74.9%
横浜	52/57(5)	9.6%	60/67(35)	58.3%	54/68(40)	74.1%
金沢	6/6(1)	16.7%	7/8(5)	71.4%	3/5(2)	66/7%
名古屋	21/21(1)	4.8%	32/39(16)	50.0%	30/34(23)	76.7%
京都	33/38(5)	15.2%	57/62(30)	52.6%	30/36(23)	76.7%
大阪	71/80(19)	26.8%	71/84(31)	53.7%	61/71(42)	68.9%
岡山	11/14(2)	18.2%	13/13(7)	53.8%	11/12(9)	81.8%
広島	4/5(2)	50.0%	6/9(2)	33.3%	3/5(1)	33.3%
福岡	15/16(4)	26.7%	19/26(9)	47.4%	18/24(8)	44.4%
宮崎	1/1(0)	0.0%	2/2(1)	50.0%	1/1(1)	100.0%
那覇	1/1(1)	100.0%	1/1(1)	100.0%	3/3(2)	66.7%
ローマ	5/5(1)	20.0%	2/2(2)	100.0%	1/1(0)	0.0%
ミラノ	21/23(11)	52.4%	17/17(16)	94.1%	7/7(7)	100.0%
計	509/584(113)	22.2%	554/642(287)	51.8%	406/503(296)	72.9%

*表の数字は受験者数/志願者数(合格者数)

—第32回試験の内容に関するQ&A— (会場アンケートより)

Q-1) 3級のN53で、Si, scusa. とあるが痛い場合は、Noと答えるのでは？

A) Noと答えるのは正しいですが、会話においては常にそうとはかぎりません。この場合、Non ti senti bene? の問いに直接答えるというより、調子が悪いことをあやまっているというニュアンスです。

Q-2) 3級N32はどれも不正解では？

A) 助動詞+再帰動詞の過去形 (dovere + alzarsi → passato prossimo)には2つあります。ひとつはessereを使う場合で、再帰動詞を前において、si è dovuta alzare. もう一つはavereを使う ha dovuto alzarsi. です。従ってdが正解です。

◇32回からの改訂について

*ウェブ申込み開始。ウェブからの志願者数は全体の1/2を占めました。

*正解は試験の二日後に協会ホームページ上に発表されました。

*「受験の心得」の説明が音声化されました。

*宮崎会場が復活しました。

*受験票がカード式からA4三つ折りに変わりました。

■第32回検定でのアンケートから

- ① 検定試験は励みになる、目標をもつことができる。⇒ うれしい言葉で今後も気持ちを引き締めて検定制度を充実させていきます。
- ② インターネットで申し込みができるようになって便利。⇒ やっのご期待に応えることができました。
- ③ 春にも1、2級を。年3回実施を。⇒ お気持ちはとてもよくわかるのですが、問題作成、受験料収入等で現状では対応できません。毎年3月と10月の第一日曜日に実施していますので、ぜひ両方受験してください。1、2級の年2回実施は将来の検討課題とさせていただきます。
- ④ 参考書をもっと出版して！⇒ 過去問題集が最良の対

策本ですので何年分かを活用してください。また徐々にですが企画しているところです。

- ⑤ トイレ退出を認めてほしい。⇒ 検討いたします。
- ⑥ ブログがあるとよい。⇒ 検討していきます。ご助言お待ちしております。
- ⑦ ビジネスに関する問題があった方がいい。⇒ 問題作成委員会に提案します。
- ⑧ せっかく実用検定としているので、会話(口頭)の試験を取り入れてみたら? ⇒ そうですね。しかし現実には試験官配置がむずかしく、代替方法を今後の課題として検討していきたいです。

■作文の模範解答例について

結果通知発送時に正解を同封いたしますが、1～3級の作文は、受験者の中からすぐれたものを1点ずつ選び、ご本人の了解の上、正しいイタリア語に校正して模範解答として掲載しています。但し、今回は該当する解答がなかったため委員会で作成いたしました。

■お詫び

ウェブで申し込まれた方への受験票は、ミラノ会場で試験当日に受け取りとなることの明記が不徹底で、大変失礼いたしました。次回から改善いたします。

■忘れ物

東京会場で「ピンクの毛糸のストール」と「ピンクのミッキー柄ハンドタオル」を忘れた方、協会事務局でお預かりしていますので、ご連絡ください。(03-5428-5630)



■合格体験記

イタリア語の勉強を始めて1年と数か月、初めて受験したイタリア語検定3級に、作文満点で合格しました。

3級合格の要はやはり作文ではないでしょうか。これまでに他の外国語を学習した経験から、トータル的な実力アップには作文が最も効果的であると気付いたため、イタリア語の場合も、語学学校で出される宿題の中で、作文には特に力を入れてきました。

大事なのは、自分の知っている、限られた文法で表現できることを、“自分なりに考えて”見つけることです。教科書の例文はあくまで例文であって、表現できることのすべてではないはずですので、例文を模倣するだけで満足しては実践力に繋がりません。

わからないことがあれば、辞書やインターネットを駆使して調べ、間違いを恐れずとにかくたくさん書く。そしてネイティブの講師に添削してもらい、間違いを知り、正す。その繰り返しです。

まずは実力アップのためにと、日常的にやってきたこのようなことが、結果として3級合格に結び付いたのだと思います。

今後は会話力を磨いて2級合格を目指します。みなさんも頑張ってください。

小暮結子



◆第33回(2011年秋季)実用イタリア語検定◆

一次試験実施日: 2011年10月2日(日) 1～5級の全級実施

申込受付期間: 2011年7月20日(水)～8月19日(金)

二次試験実施日: 2011年12月4日(日) 1・2級

◆第34回(2012年春季)実用イタリア語検定◆

実施日: 2012年3月4日(日) 3・4・5級

■受験者の方へのお願い

*表札がなかったり、郵便受に名前がなかったりしますと、郵便物が届かずに戻ってくる場合がありますのでご注意ください。

*マークシートはHBの鉛筆で、2Bなどの濃すぎるものや、ボールペンだと機械での採点が正確にできないことがあります。また、マークシートの記入は記入例を見て、はみ出ししたりしないように丁寧に塗りつぶしてください。特に0と1、隣り合った数字の塗り間違いにご注意ください。

NPO 活動について

*地方での講習会開催: 今年は東北の人たちの応援のため、仙台で検定試験の説明会と講座を計画しています。

*イタリア語を使う活動情報: ボランティア等の紹介や求人情報などを発信する準備を進めています。

*イタリア語教授についての研究会

*活動を活性化するために、会員募集も行っています。ご支援をお願いします。活動のアイデアも募集しています。

*イタリア語の学習活動に問題集の提供: イタリア語作文翻訳コンテスト(日伊学院主催)と(社)全外協主催「文法の日」にそれぞれ4冊ずつ進呈しました。

☞お問い合わせは info@iken.gr.jp まで。

☞詳しくは今後ホームページに掲載していく予定です。 <http://www.iken.gr.jp>